

心理学者のポール・ショシャルの言葉に、次のようなものがあります。

「知能は言葉によってつくられる」

どうしてそういうことを言ったのかというと、彼はフランス人ですが、フランスでは多くの黒人がいろいろな仕事に従事しています。アフリカから働きに来ている人が多いのですが、その子どもたちは当然フランスの学校へ入り、フランス人と一緒に学習します。ところが、学校の成績はあまりよくありません。このため、黒人は生まれつき知能が低いという偏見がありました。

そこでショシャルは、この黒人の子どもたち一人ひとりを、どこで生まれて、どこで育ったかを調べたのです。すると、アフリカで生まれてアフリカで育った子どもだけを集めてみると、たしかに知能が低いのです。

ところが、フランスで生まれてフランスで育った黒人の子どもの知能は、まったくフランス人の子どもと変わらなかったのです。

同じ黒人の子どもでも、フランス生まれのフランス育ちならば、知能はフランス人と同じレベルにある、ということを調査によって明らかにし

たのです。

つまり知能というものは生まれつきのものではないのです。人種によって知能が低いとか、白人だから高いというのは誤りである、ということがわかったのです。

では、その知能というものは、何によってつくられるのかということ进行调查すると、その原因は言葉にあるということも明らかになりました。

フランス語で使われている言葉は、ボキャブラリーが豊かです。フランスで生まれた子どもたちは、豊かな言葉を耳にして育ちます。だから知能が高いのだと説明したわけです。

フランスに比べて、黒人が使っている言葉は語彙が少ないのです。そういう環境で育った子どもは、一般的に知能が低いのです。

幼児期の子どもに言葉を教えるのは、まず母親でしょう。母親の言葉を通して、子どもの能力が育っていくのですから、お母さんの役割は非常に大切です。母親が言葉の教育に熱心に取り組むことが、子どもの将来に響いてきます。